

## 細胞毒性試験

### <試験方法>

使用細胞	V79 細胞(チャイニーズハムスター肺由来線維芽細胞)を使用します。
細胞の選択理由	細胞毒性試験に一般的に使用され、比較データが豊富なことから選択しています。
培地	継代用培地：MEM10 培地(牛胎児血清 10 %添加) 試験用培地：MO5 培地(牛胎児血清 5 %添加)
対照材料	陰性対照材料： 高密度ポリエチレンフィルム 陽性対照材料： 0.1 % Zinc diethyldithiocarbamate(ZDEC)含有ポリウレタンフィルム 0.25 % Zinc dibutyldithiocarbamate(ZDBC)含有ポリウレタンフィルム 以上、いずれも検定済みのものを使用[(財)食品薬品安全センター 秦野研究所] 陽性対照物質： ZDBC[和光純薬工業株式会社]
培養条件及び培養期間	37 °Cの 5 %CO <sub>2</sub> インキュベーター中で 6 日間培養します。
試験結果	ブランクコントロールで形成されたコロニー数を 100 %として各試験液のコロニー形成率を算出し、コロニーの形成を 50 %阻害する濃度(IC <sub>50</sub> 値)を求めます。 同時に実施した陽性対照材料の IC <sub>50</sub> 値と比較することで、検体の細胞毒性を評価します。